



アジア的文脈から見た 「公」と「私」

—東南アジアと北東アジアを結ぶ秩序と実践—

実施責任者：伊藤未帆（日本学術振興会
特別研究員・東京大学）

・企画実施内容：

本プロジェクトは、地域研究コンソーシアム学会連携プログラム（萌芽研究）による研究助成を受けて、「アジア的文脈から見た「公」と「私」—東南アジアと北東アジアを結ぶ秩序と実践—」という申請テーマに基づき、北東／東南アジア地域研究を行う諸学会との連携を求めて活動を行った。

・ワークショップの実施概要：

日程：2012年10月5日16時～18時半

場所：東京大学駒場キャンパス（18号間コラボレーションルーム）

本ワークショップでは、中国ムスリム研究会の幹事を務める奈良雅史氏（筑波大学大学院）を招いて、東南アジア研究と現代中国研究との接点を探る試みを行った。参加者は東南アジア、日本を研究対象とする研究者であり、中国雲南省回族のイスラーム信仰と実践をめぐる公と私という報告者の視点を出発点に、アジア的文脈を横断する新たな視座を得た。

また、アジア政経学会理事長の金子芳樹氏、理事の竹中千春氏らが組織するシンポジウムに参加し、広域アジアにおける公と私というテーマについて議論し、来年度以降の共同研究の可能性について打診した。